





顔面、頭部の帯状疱疹で入院された方へ

() 様

帯状疱疹とは、水痘（みずぼうそう）—帯状疱疹ウイルスと言われるウイルスによって発症します。一度、みずぼうそうに感染すると、症状がなくなってもウイルスが免疫として神経節に潜んでいます。体力が低下したりすると、潜んでいたウイルスが帯状疱疹として発症します。

	入院当日 (/)	2日目~6日目 (/) ~ (/)	7日目 (/)	8日目 (/)
目標	①痛みが軽減する ②夜間、睡眠がとれる			退院できる 退院後の注意事項が理解できる
注射	約1時間かけて点滴を行いません。 本日は14時と22時の2回のみです。	1日3回（6時・14時・22時）に行いません。		朝6時の点滴で終了となります
処置	「皮膚科処置室」にて軟膏塗布とガーゼ交換を行います。 連絡がありましたら、処方された軟膏を持って、お待ち下さい。 平日は15時、土・日・祭日は、その都度お知らせします。			
検査	入院時に採血と検尿があります。			
食事	特に制限はありません。 糖尿病や腎臓病などの持病がある方は、治療食となります			
安静	特に制限はありません。 みずぼうそうにかかっている子どもさんとの接触は、避けましょう。			
清潔	①許可がある場合は、シャワー浴ができます。 ②シャワー浴ができない場合は、看護師が蒸しタオルで体を拭きます。			
痛み	痛みがある時は、我慢せずに医師や看護師に申し出てください。 鎮痛剤などで対処いたします。			
説明・指導	入院、治療についての説明があります。 同意されれば、入院治療計画書にサインをして 看護師に提出してください。			退院についての説明があります 退院となります
退院後の生活	顔面神経麻痺等や神経痛が残ったり、後から出て来る可能性があります。 冷やすと痛みが強くなるので、温めましょう。 何か心配なことがある場合は、福井県立病院 0776-54-5151 皮膚科外来へご相談ください。			

*これはあくまでも予定です。場合によっては予定通りに経過しないこともありますのでご了承ください。

福井県立病院 皮膚科 2014年9月改訂